

審査基準表

審査項目			提案依頼事項	審査基準	配点
基本事項	1	基本方針	要件への対応	①本業務の仕様書に記載する「調達の背景・目的」に沿った提案となっているか。 ②住民側、職員側、双方の利用しやすさを重視した提案となっているか。	5
	2	実施体制	①プロジェクト責任者の経歴及びスキル ②プロジェクト体制 ③プロジェクト運営管理方法	①本業務を遂行するプロジェクト責任者の経歴及びスキルが具体的に示されているか。 ②本業務を遂行するための体制が具体的に示されているか。また、各要員の参画度合いが明確に示されており、その理由に妥当性はあるか。 ③本業務を適切かつ効率的に実施するため管理手法及び工夫点が示されているか。	5
	3	スケジュール	①工程計画 ②作業範囲の明確化	①職員の業務に配慮した工程が組まれているか。 ②委託元、受託者等の作業項目が明確に区別されているか。	5
	4	実績	開発及び稼働実績	都道府県又は市町村での受託実績が十分か。	5
機器構成	5	機器構成及びPOSシステム	①決済機器の構成、機能及び操作性 ②決済機器の通信方法 ③POSシステムの機能及び操作性 ④出力できる帳票（日計・月計等）、集計できるデータ項目 ⑤導入後の業務フロー	①利用者の使いやすさと窓口の効率的な運営及び職員の事務負担に配慮された構成となっているか。 ②安全で安定的に使用できる通信方法となっているか。 ③見やすく使いやすいシステムとなっているか。支払種別の登録、修正等が簡単にできるか。 ④日計・月計等、業務に必要な帳票や情報が出力できるか。 ⑤効率的な業務フローが提案されているか。	20
決済ブランド	6	キャッシュレス決済	①導入可能決済ブランド ②収納金の入金方法及び入金サイクル ③決済手数料の支払方法 ④指定納付受託者	①仕様書に示すブランドのほかに独自提案があるか。 ②③職員の事務負担に配慮した提案となっているか。 ④提案者が指定納付受託者となる提案となっているか。そうでない場合は、適切な代替案が示されているか。	10
セキュリティ	7	セキュリティ	セキュリティ対策及び不正アクセス対策	適切なセキュリティ対策が講じられているか。	5
運用サポート	8	サポート	・サポート体制 ・障害発生時の対応 ・操作研修	①円滑に運用していくためのサポート体制がとられているか。 ②障害発生時の対応について具体的な提案となっているか。 ③研修について具体的な提案となっているか。	5
独自提案	9	独自提案	要件以外の提案	①本事業を更に有効に実施するための独自の提案があるか。 ・住民の利用率向上に繋がるもの ・職員の事務効率向上に寄与するもの など ②本事業の将来的な拡張性を踏まえた独自の提案があるか。 ・事務負担の少ないキャッシュレス決済の対象の拡充 ・役場全体のキャッシュレス化の展望 など	20
見積書	10	価格		提案された価格（本事業見積額＋R7・R8ランニングコスト見積額）により評価	15
決済手数料率	11	決済手数料率		提案された決済手数料率により評価	5
計					100